



ニュアンスをつけるペダル・トレーニング

毎日
弾こう!

check!

239
365



ノリのタイミングに
忠実に

Track 247

♩=100

小節内の音は同じでも、ペダルの箇所を変えるとノリが変わってきます。ビートにノッてペダルを踏めるように、全体の音をよく聴きましょう。



check!

240
365



アフター・ビートの表現

Track 248

♩=120

スウィングの2、4拍に重さを乗せる、アフター・ビートの隠し味として、アクセント・ペダル(弾くと同時に踏んで、離鍵と同時にペダルを離す)を軽く入れて強調します。



check!

241
365



ボサノヴァ的な表現

Track 249

♩=60

まるでギターがバッキングしているかのような雰囲気作りにも、ペダルを活用します。全体的に軽めにしたいので、ペダルも浅めに短く入れてみましょう。浅く短い加減は、よく聴いていろいろと試してみてください。



check!

242
365



ジャズ・バラードの表現

Track 250

♩=70

うっとりできる心地良さのコツはペダルの使い方にあります。ペダルを入れるタイミングも、少し食い気味で響きが多めにするのか、先に踏んでおいて夢のような響きを作るのか、微妙に差をつけて、雰囲気の違いを楽しんでください。